

四国電友会会報

第 1 2 1 号

平成 15 年 1 月



目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 年頭のご挨拶(電友会四国地方本部長) | 3 |
| 年頭にあって(NTT西日本愛媛支店長) | 2 |
| NTTグループの動き | |
| NTTの中間決算 ― 減収・増益 | 4 |
| NTT「光・新世代ビジョン」を発表 | 4 |
| 会社紹介 | |
| NTTネオメイト四国 | 5 |
| お知らせ | |
| 第十二回電友会ボランティア活動賞 | 6 |
| 電信電話記念日の表彰/本部での会議模様 | 7 |
| 支部だより | |
| 第三回親睦ゴルフ大会開催(愛媛) | 7 |
| 親睦旅行は山口方面へ(愛媛) | 7 |
| 電友会設立「四十周年記念旅行」(香川) | 8 |
| 古都奈良と明日香村散策と伊賀上野の旅(高知) | 8 |
| 寄稿(さらば!「松電つどいの会」) | 8 |
| 健康のページ | |
| 二〇〇三年健康保険医療動向について | 9 |
| 私は今 | 10 |
| ドキュメント | |
| 陶工として窯元を守る | 15 |
| テルウェルだより | |
| 「グループホーム愛松園」二月一日オープン | 16 |
| ボランティア紹介 | |
| ボランティアNTT高松OB会 | 17 |
| M・M(マルチメディア)コーナー | |
| コンピュータウィルス | 17 |
| サークル紹介 | |
| 八〇(パー・ゼロ)会 | 18 |
| 俳句(愛媛) | 19 |
| 敬弔/物故者叙位叙勲 | 19 |
| 表紙の言葉/編集後記 | 19 |

年頭のご挨拶

電友会四国地方本部長

芳野 運



電友会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。新しい年が、皆様にとって健康で、情趣ある心豊かなものでありますよう、心

からお祈りいたします。会員の皆様には、常日頃、会の活動、運営につきまして、何かとご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。お陰様で会の活動も、年次活動方針にもとづき、各県支部関係役員が中心となって着実に推進されているところでもあります。

このように私ども電友会の活動が順調でありますことは、会員の皆様の積極的なご協力によるものであります。同時に、私たちの出身母体であるNTTを初めNTTグループ関係各社の物心両面にわたるご支援、ご配慮の賜物であり、新年を迎えるにあたり、あらためて深く感謝しお礼申し上げます。

さて、昨年における情報通信市場は、国をあげての「IT戦略」に向けた市場の展開に伴い、「音声通信からデータ通信」へという市場環境の変化が一層発展し、国境や業種を超えた激しい競争が展開されて参りました。NTT西日本におかれても、この情報通信

市場の構造変化の急速な進展と競争環境の激変変化に対応できる、より機動的かつ効率的な事業運営体制と、財務基盤の確立をはかるため、電電公社、NTT開びやく以来の大幅な構造改革が、昨年五月に実施されました。その内容は、業務の抜本的なアウトソーシングを中心とした、私どもOBとして想像もしなかつた大胆なもので、徹底した「業務の効率的な遂行」と「新たな事業の開拓」をキーワードとし、新生NTT西日本グループの「自立」と「再生」に向け、会社の命運を賭けた事業展開に取り組むというものであります。

この厳しい事業展開に、積極的かつ懸命に取り組む、努力されている現役各位のご労苦に対し敬意を表するとともに、かつて苦楽を共にしてきた同志として、最大限の協力、支援をしていきたいと考えているところであり、援を、何をもちいてお役に立つことができるのか、戸惑いを禁じ得ないというのが偽りのないところでもあります。

このような状況ではありますが、電友会としても、今後の新生NTTにふりかかる諸問題について十分理解し、NTTの考え方に沿って支援等取り組んで参りたいと考えております。当面は、NTTの事業展開に対する地域社会との接点として、少しでもお役に立つことができるよう努めて参りたいと思っております。会員各位のご理解とご協力をお願いするものであります。

激変するNTTの事業展開の中にあつて、電友会の平成十四年度事業活動は、次のことを中心課題として取り組んで参りました。

▽ NTTの推進するマルチメディアの普及について、一昨年に引き続き、パソコン教室の実施とそれをベースとしたインターネット愛好者の拡大に努めました。各県支部のご協力、ご努力により、愛好会によるパソコン指導、IT相談などが活発に行われ、インターネット愛好者の拡大をはかることができました。関係会員の熱意とご努力に厚くお礼申し上げます。

▽ 地域における会員相互の連絡、親交、交流を深めるための接点として、役員等による会報、会員名簿の「手配り」(宅配)を、体制の整ったところから、逐次、実施いたしました。実施結果は、日頃疎遠になりがちな会員が顔を合わせ会話することにより、より親交を深めることができ、会員から意義ある施策であったとの評価をいただきました。関係役員及びご協力いただいた会員の方々のご理解、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。同時に、この活動は今後も継続して取り組んで参りたいと存じますので、関係各位のご理解とご協力を切にお願いする次第であります。

電友会は、NTT及びNTTグループの発展に寄与すること、会員相互の連絡、親交を深め会員の生き甲斐づくりを応援することを基本理念としております。

新年を迎えるにあたり、会員の皆様とともに、今一度この基本理念に立ち、思いを新たに、新生NTTグループ発展のため頑張つて行こうではありませんか。

最後に、会員の皆様のますますのご健勝、ご多幸と、病氣治療中の方々の早期ご快復をお祈りし、新年のご挨拶とします。

年頭にあたって

NTT西日本愛媛支店長

伊藤 卓志



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素よりNTT事業につきましまして深いご理解を賜り、各種施策の実施やキャンペーン等にご協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年、早いもので電電公社の発足から五十周年を迎え、情報通信事業の分野におきましては新たな一ページを刻んだ一年でありました。一昨年までの電話会社選択サービス（マイラインサービス）の導入など電話を中心とする時代から、普及拡大するインターネット通信や移動体通信の分野において、「より大量の情報をより高速に」という「ブロードバンド」時代に移行する幕開けの年になったと感じております。NTT西日本では、四国地域におきまして、インターネットサービスを何時間利用しても料金が一定額であるフレックスサービスについて、昨年三月には光ファイバを用いて一秒間で新聞一か月分に相当する大量の情報をやりとりできるBフレックス（Bはブロードバンドを表す）の提供を開始

するとともに、フレックス・ADSLについても一秒間で新聞一〇ページ分に相当する情報を受けられる一・五M（メガ）タイプからその五倍の情報を受けられる八Mタイプ、さらに十二月には「フレックス・ADSLモア」という一秒間で新聞三日分の情報を受けられるサービスの提供を開始し、合わせてこれらのサービスをご利用頂けるエリアの拡大を行うなど、昨年はまさにブロードバンド時代の始まりの年でありました。また、四国全域どこでも時間を気にせずにインターネット通信がご利用いただけるよう、昨年十二月にはフレックス・ISDNのサービス提供エリアを四国全域に拡大しました。一方、NTTドコモ四国においても、昨年四月から「FOMA」という携帯電話端末で映像も送受信できるモバイル通信サービスや、デジタル写真を送受信できる「i-ショット」サービスを開始するなど、移動体通信においても電話から映像通信というブロードバンド時代に移行した年でありました。

こうした大きな環境変化の中で、NTT西日本では、ブロードバンドサービスをより多くの方々々に低廉な料金でご利用頂くために、また同様なサービスを提供する他事業者との競争に打ち勝っていくためにも、更なるコストパフォーマンスの改善が必要となり、昨年五月に電電公社発足以来最大と言っても過言ではない事業構造の改革を行いました。この結果、四国地域においてはマーケティングアクト四国、ネオメイト四国、ビジネスアソシエ四国の三社を設立し、新たな愛媛支店とともに事業の発展・拡大を推進していくことと

し、新生「NTT西日本グループ」としてスタートを切りました。この事業構造の改革によりまして、昨年十一月に発表したNTT西日本の中間決算では、収益が減少する中で費用の大幅な低減が図れ何とか経常利益を計上することができ、会社発足以来目標としてきた「黒字構造への転換」に向けて布石を打つことができました。

また、中間決算発表直後には、NTTグループの新たな事業ビジョンとして「光・新世代ビジョン」を公表し、「ブロードバンド・レゾナントコミュニケーションの世界へ」（レゾナントは共振、共鳴するという意味）と銘打って、ブロードバンドサービスを通じて新しいコミュニケーション環境を創出することに、お客様がご要望されるサービスを開発・提供していくとともに、さまざまな社会的な問題の解決に寄与していこう、と考えております。

新年を迎え、私もこうした新たな目標に向かって、グループ各社が連携してお客様の期待とご要望に出来るべく取り組んでまいりますので、今後とも皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。合わせまして、皆様には「NTT・OBネットワーク」をご活用頂きまして、電子メールやインターネットを皆様の生活の充実に役立て頂き、ひとりでも多くのインターネット愛好者の輪を広げて頂くことを願います。

最後になりましたが、四国電友会のご発展と会員皆様方のますますのご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

NTTグループの動き

NTTの中間決算 — 減収・増益 —
NTT西日本は黒字
グループ全体では売上が減少 —

NTTは昨年十一月十八日、平成十四年度中間期の決算概況を発表しました。

まず、NTT西日本を見ると、営業収益は一兆千三百四十四億円（対前年比千三百四十四億円の減）、営業費用は一兆九百五十七億円（対前年比千八百一十一億円の減）であり、営業外利益も含めた経常利益は百十億円と、中間決算とはいえ初めての黒字となっています。

営業収益は千億円を越える減収ですが、これは通話料等の固定電話収入の減が大きく影響しています。一方、営業費用は構造改革の推進と全般にわたる費用の削減の効果により大幅な減少となった結果、収支は黒字という減収・増益となっています。

また、平成十四年度年間の見通しでも、黒字を確保する見込みとしています。

次に、NTTグループ全体（連結）を見ると、やはり減収・増益となっています。

このように、グループトータルの営業収益が減少ということは、民営化後初めてのことですが、一過性のものではなく、大きな転換期にさしかかっていると云えます。

一方、営業費用の面では、NTT東・西の構造改革実施等による費用の大幅減の効果でグループを連結した決算では黒字を確保しています。

NTTグループ平成14年度中間決算概要

(単位：億円)

| | 西日本 | 東日本 | コミュニケー ションズ | データ (電) | ドコモ (電) | NTT連結 |
|------------------|--------------------|--------------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------------|
| 営業収益 (対前年同期比) | 11,034 (▲1,034) | 11,718 (▲1,089) | 5,757 (617) | 3,790 (368) | 23,483 (455) | 53,675 (▲ 924) |
| 経常利益 (対前年同期比) | 110 (865) | 493 (660) | 729 (347) | 224 (25) | 6,280 (1,146) | 7,693 (5,196) |
| 当期利益 | 140 | 295 | ▲122 | 126 | 42 | 332 |
| 年間利益(予想) | 110 | 210 | 10 | 280 | 1,820 | 2,050 |

注1:「NTT連結」は、連結対象となるグループ333社の合計である。

注2:コミュニケーションズ及びドコモの当期利益は、海外投資減損の影響が大きく出ている。

また、年間の見通しでは、NTT東・西、コミュニケーションズ、ドコモの四社が、売上の回復が見込めない状況から、営業収益を当初計画から下方修正しています。各社とも費用の縮小等で最終利益はプラスにする計画であり、グループトータルでは、二千五百億円の黒字の見込みとしています。

NTT「光・新世代ビジョン」を発表
—— 五年〜十年先を見据えて ——

NTT本社は、昨年十一月二十五日、ブロードバンド事業のビジョンとして、「光・新世代ビジョン——ブロードバンドでレゾナントなコミュニケーションの世界へ——」を発表しました。

このビジョンは、今後、五年〜十年先を見据えて「光」による本格的なブロードバンド時代の社会生活や企業活動を展望し、それに向けてNTTグループが取り組む構想を「ビジョン」として策定したものです。

ビジョンの柱となる考え方は、「光」を洪水的に普及・発展させることによって、本格的ブロードバンド時代を招来しようというものです。また、キーワードの「レゾナント」は、共鳴する、共振する、響くを意味する言葉（英語）です。

五年〜十年先のIT社会は、「光」をベースにした映像と双方向のコミュニケーションの時代であると想定し、NTTグループとしては、それに向けてあらゆる端末やアクセスの手段を、安全・確実・簡単に、どんな相手とも情報の交流ができるようなネットワークを構築し、併せて、そのネットワーク上での先進的なビジネスモデルの開拓や利用方法の創出と提供をしようとするものです。

ビジョンに付記された、想定されるサービスのうち、身近なものの一例としては、「香りや感触を伝える『五感通信システム』」、「消費電力が従来比十万分の一で『一年間充電不要なモバイル端末』」等もあります。

会 社 紹 介



は じ め に

会 社 概 要

- ・ 商 号 株式会社エヌ・ティ・ティネオメイト四国
- ・ 所在地 愛媛県松山市一番町四丁目二番地
- ・ 代表取締役社長 古川 清二
- ・ 設 立 昭和六十三年六月七日
- ・ 社員数 二三五〇名
- ・ 営業拠点
 - 本社 愛媛支店 香川支店
 - 徳島支店 高知支店 東京支店

事 業 概 要

具 体 的 事 業 展 開

(株)エヌ・ティ・ティネオメイト四国は、昨年五月一日にNTT西日本帰属のME会社を統合・再編し、「ITスペシャリスト集団」として、NTT西日本からの受託と一般市場向け事業を行う設備系会社として設立しました。

社会のIT化とともに、情報流通市場を巻き取る環境が急激かつ構造的に変化し、異業種も含めた事業者間の価格破壊的な競争が熾烈化している中、NTT西日本の最大の目標である平成十四年度「黒字化」を達成し、平成十五年以降の安定的「黒字化」に向けて、光を中心とした、ブロードバンドビジネスの展開及び更なる業容拡大、徹底したコスト削減を行い、経営基盤の強化に寄与することがNTTネオメイト四国の「黒字化」と「自立化」に繋がるものとして、全社一丸となつてまい進していきます。

ネオメイト四国の事業内容は、大きく分けて二つに区分できます。一つは、NTT西日本からの受託業務である、情報通信設備の構築・維持・管理・運用等といったベースロード業務の事業化売上げです。

もう一つは、業容拡大の売上げで、法人市場におけるNTTグループとの連携によるLAN・WAN、CATV、電子地図といった情報流通システムの提案業務や一般市場での各種システムやネオメイト四国独自商品を提供するカスタマソリューション業務、NTT西日本の通信機器販売業務を中心に展開していますが、今後はさらに、ITビジネスに関するシステムや商品の提案に積極的に力を注ぐとともに、新サービス・商品の開発に努め事業の拡大を図っていくこととします。

情報流通市場においては、本格的ブロードバンド時代の到来により、固定電話から携帯電話へのシフトに加え、相互接続の低廉化、マイライン制度の導入、対抗上の料金値下げ、インターネットの定額制など固定電話の収入減少に歯止めをかけることが困難な状況となっております。

このような状況においてネオメイト四国では、当社の強みであるCCNA資格・CCNP資格に代表される「高度な技術力」、「情報通信に携わってきた豊富な経験」、「二十四時間・三百六十五日のトータルフルサポート」、「全国を網羅する充実したネットワーク」等、これらを最大限活用し、地域密着の事業運営の中で、創意・工夫を凝らし、NTT西日本からの受託業務の確実な運営とIP系を中心とした業容拡大の積極的な展開を図っていきます。

また、一方、ネオメイト四国のブランドである第二種事業の「QUOLIA」が昨年六月にサービスを開始し、契約数も順調に推移しております。今後は、Bフレックス対応、ホスティングサービス等の充実拡大を図り、IP事業領域へNTT西日本愛媛支店やNTTマーケティングアクト四国と三位一体となり競争対抗営業を展開していくこととします。

お知らせ

「第十二回電友会ボランティア活動賞」
受賞者表彰式開催

電友会では、長年にわたって地道なボランティア活動に取り組んでいる個人又は団体を表彰しています。

本年度の表彰式は、平成十四年十一月二十日、銀座ラフィナートで開催され、「第十二回電友会ボランティア活動賞」として、全国から個人二十九名、団体六団体に対し、村上会長からそれぞれの個人又は団体の代表者に授与されました。

四国からは、水口寛さん（愛媛県）と浜野昌子さん（高知県）が受賞しました。

また、平成五年に活動賞として表彰され、その後も活動を続けている九団体が、「第三回電友会ボランティア活動長期継続団体賞」（特別賞）として再表彰され、四国からは、「ボランティアNTT松山OB会」と「ボランティアNTT徳島OB会」が該当しました。

それぞれの活動内容の概要を紹介します。

（第十二回電友会ボランティア活動賞）

水口 寛さん （68歳）愛媛県砥部町
☆点訳奉仕を通じての視覚障害者支援活動

① 平成二年に点訳の講習を受けて以来、点訳奉仕グループ「春蘭会」に入り点訳活動を続けています。



平成九年には、点訳五、〇〇〇ページを達成したことにより、愛媛県視覚障害者協会から感謝状が贈られています。

② 五、六年前からは、他の会員が点訳したものを校正するという立場にもなっており、校正したものはすでに約七、〇〇〇ページとなっています。

点訳本は、愛媛県点字図書館から国会図書館へ登録され、全国に貸出配本されていますが「春蘭会」の点訳は誤字等がないことで全国的に名を馳せています。これには水口さんの緻密で卓越した校正技術が大きく寄与していると言われています。

③ 平成十二年に「春蘭会」副会長に就任。点訳ボランティアの育成・拡大に努めるほか途中視覚障害者の家庭を訪問しての点字指導、小・中学校を訪問しての体験学習の指導、郵便ポストへ貼付する収集時刻の点訳シール作成支援等々点訳作業にとどまらない活動をしています。

浜野昌子さん （65歳）高知県南国市
☆医大附属病院での総合案内に協力

① 平成九年十二月から、高知医科大学附属病院で、外来患者を受付窓口へ案内するなどの手助けをするボランティアとして活動を続けています。



② 活動内容は、一週四日、午前八時三〇分から三時間、病院の待合室に立って、受付に戸惑っている患者と対応して、予約の有無の確認、診察申込みの記入要領、車椅子の手助けの要否などの案内や手助けをすることです。

③ 応対の相手が病院へ来る患者ということもあって、言葉づかいや態度には細心の心くばりをするともに、「押しつけや親切の押し売りはノー。こころを添えた、ほどよいお節介はイエス」ということを念頭に対応しています。

④ この活動時間が一、〇〇〇時間を越えたことから、平成十三年には同病院から感謝状が贈られたほか、患者からの感謝の言葉（投書）が同病院の「病院ニュース」に掲載されてもいます。

（第三回電友会ボランティア活動長期継続団体賞）（特別賞）

ボランティアNTT松山OB会
（会員数 53名 槻越 村尾 守康）

- ・クリン作戦（石手川公園、港、海岸、峠でのゴミや空缶拾い）
- ・老人施設の訪問（踊りやカラオケ等演芸での慰問と対話）
- ・老人施設のお年寄りの外出（お寺参りや買物）のときの車椅子での介助
- ・高齢（八十歳以上）のNTT-OBの家庭訪問
- ・家庭で眠っている品物を持ち寄ってファミリーマーケットに参加（資源の有効利用と活動資金集めの一助）

ボランティアNTT徳島OB会

- （会員数 30名 榎越都 児島 貞雄）
- ・市内を通る国道の清掃（空缶拾い等）
 - ・吉野川河口でのゴミ拾い
 - ・阿波踊り前の公衆電話ボックスの清掃
 - ・ツツジの名所となっている神社の清掃
 - ・海開き前の海岸の清掃
 - ・使用済み切手の収集・抛出
 - ・歳末助け合いや赤い羽根等の募金活動
 - ・高齢（八十歳以上）のNTT-OB訪問

電信電話記念日の表彰

平成十四年度電信電話記念日にあたり、長年にわたって電信電話事業に協力された次の会員に、NTT西日本愛媛支店長から感謝状が贈呈されました。（敬称略：五十音順）

（愛媛県）

- 敷村サガノ（松山市） 芳野 運（松山市）
- （香川県）
- 洪谷 工（丸亀市） 松永 政（三木町）
- 矢野 和昭（高松市） 山本 政典（坂出市）
- （高知県）
- 東定 鈴子（高知市） 和田 昌寛（高知市）

本部での会議模様

(1)第二十八回理事会

平成十四年十一月二十日、第二十八回理事会が銀座ラフィナートで開催され、芳野本部長が出席しました。

主な議題は、①第十二回「電友会ボランティア活動賞」の審査委員会結果報告②情報化に関するアンケート結果③平成十四年度電信電話記念日祝賀式典等の実施状況、等でした。

(2)第十七回事務局長会議

平成十四年十一月二十一日、第十七回事務局長会議がNTT東日本本社ビルで開催され、稲毛事務局長が出席しました。

主な議題は、①第十九回常任理事会での審議模様の報告②第十二回「電友会ボランティア活動賞」審査委員会結果報告③平成十四年度電信電話記念日祝賀式典等の実施状況④情報化アンケート調査⑤電友会傷害保険関係（協定書の締結、十四年度電友会傷害保険の募集スケジュール）⑥電友会活動補償保険の提案、等でした。

支部だより

第三回親睦ゴルフ大会開催（愛媛）

愛媛電友会では、平成十四年十月十七日、秋晴れのもと、チサンカントリークラブ北条で第三回親睦ゴルフ大会を開催しました。

参加者は百一名、結果は次のとおりでした。（ハンディはダブルペリア方式で実施。ただし、会報ではネットの少数点以下を省略）

- 優勝 金井 信幸（ゲロス89 ネット69）
- 準優勝 天野 潔（ゲロス76 ネット71）
- 三位 今城 幸男（ゲロス94 ネット71）
- ベストゲロス 天野 潔（ゲロス76）

なお、今回は「ドラコン賞」のほかに「ドラ短賞」も設け、長いホールであえて短く打つ技(?)を競うなど、親睦の一日でした。

親睦旅行は山口方面へ（愛媛）

愛媛電友会では、平成十四年十一月十一日から一泊二日で恒例の親睦旅行を実施。

天候にも恵まれ、参加者三十八名は、バスでしまなみ海道を經由し山口県入りしました。

初日は、山口市内観光の後、湯本温泉泊。二日目は仙崎港から「青海島観光クルージング」、続いて萩市内観光の後、無事、愛媛へ戻りました。

宿での大宴会(?)は、自慢の喉を披露しマイクを離さない者、現地人顔負けのフラダンスを踊る者等、大いに親睦をはかれた小旅行でした。

本州最南端の町：串本
橋杭岩で（香川）



ん温泉も
というこ
とで宿泊
は南紀勝
浦ホテル
浦島と白
浜温泉泊
まり。

電友会設立「四十周年記念旅行」
——南紀勝浦・高野山・白浜温泉へ——
（香川）

香川電友会では、今年が設立四十年にあたることから、「四十周年記念旅行」を実施しました。

平成十四年九月三十日、県内各地から出発して大型バス二台で、南紀勝浦・高野山・白浜をゆっくりと三日間かけて廻りました。

香川電友会始まって以来、初めての旅行企画なので、会員の期待も大きく、料金も格安で、熊野古道散策、熊野本宮や那智の滝、那智大社のほか、高野山では奥の院参拝など、スケジュールも盛り沢山。

参加者の皆さんからは大変喜ばれ、是非、毎年実施して欲しいとの声が大きく、大成功のうちに無事帰ってきました。

——古都奈良と明日香村散策と
伊賀上野の旅——
（高知）

高知電友会では、平成十四年十月七日〜九日の二泊三日で、恒例の「秋の観光バスツアー」を実施しました。

参加者四十二名で観光バスに乗車。高知自動車道から徳島自動車道を経由し、更に、淡路島ハイウェイ、明石海峡大橋と道中を楽しみながら、古都奈良へと一路急ぎ一日目の行程を終えました。

奈良公園で
（高知）



二日目
は、奈良
市内観光
から明日
香村へと
移動し、
古代文化
を十分堪能し、
原温泉で一泊しま
した。

三日目は、「忍者の里」伊賀上野を訪ね、更には、信楽焼で有名な信楽まで足を延ばした後、帰路につき、予定通り午後七時頃に「はりまや橋」へ帰着しました。

この間、無事故で一人の落伍者もなく楽しい旅行ができ、いつもながら世話役一同胸を撫で下ろした次第です。

（寄稿）

さらば！「松電つどいの会」

西原 舛（北条市）

二〇〇二年（平成十四年）十一月九日、部門別のOB会としては、四国でも数少ないと思われる「松電つどいの会」が、その四十年の幕を下ろしました。

この会は、旧通信省松山通信局と言われていた時代に、モールス通信・窓口・配達・庶務などの業務に携わっていたOB達で、一九六三年（昭和三十八年）に結成されました。年に一回の懇親会が開かれ、旧交を温め、思い出を語る場となっていました。私なども退職以来十年余り、毎年欠かさず出席し、楽しみの一つとなっておりました。

しかしながら、昨今の情勢や高齢化など時代の流れには逆らえず、存続してほしいという声もありましたが、惜しまれながら解散大会ということになりました。

はからずも、この最後の会の司会を務めた私にとって、現役時代のことなども走馬灯のように頭の中を駆けめぐり、正に、万感胸に迫る思いでした。



健康のページ

二〇〇三年健康保険医療動向について

NTT西日本 松山病院長
井上 賢二



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方にとりまして、今年もどうかよい年でありますようお願い致します。

正月早々であります。残念ながら、経済不況は、未だトンネルを抜け出せず、その影響は医療にも及んでいます。すでに昨年十月には、老人保険の改定がおこなわれ、外来でも一割ないし二割の自己負担が、課せられるようになりまし。さらに、今年四月より、サラリーマンの自己負担率は、二割から三割に増加すること等が決定しています。

わが国の二〇〇一年度の総医療費は、三兆兆円超（介護保険は除く）で、このままでは二〇二五年には八十一兆円になり、その半分以上を高齢者医療費が占めるといわれ、現下の少子高齢化社会では、健康保険制度が成り立たないこととなります。

さて、総医療費三十兆円のうち七十歳以上の医療費は十一兆円で、そのうち高齢者が支払った額は一兆円で、残りの十兆円のうち税金から三兆円、残りの七兆円を健保組合が拠出金で補っていますが、組合にとって大きな

負担になってきています。

健保組合には、公務員の共済組合、大手企業の健保組合、中小企業の政府管掌保険、自営業者・高齢者等の国民健康保険などがあります。政府管掌保険は社会保険庁が全国一手に運営していますが、二〇〇六年度には赤字に転落する見通しとなっています。また、全国に約三千二百ある国民健康保険のうち60%強にあたる二千二百の自治体が赤字で、国保全体の赤字額は四千四百四十七億円になっています。

さて、これからの医療施策はどのようなようになっていくのでしょうか。

目下、①現行健保組合制度の改変と②新しい高齢者医療制度の検討がなされています。まず、①現行健保組合制度ですが、組織の改変と資金支援策が二大テーマとなっています。

組織の改変のキーワードは「分割」と「統合」です。即ち、政府管掌保険は、厚生労働省社会保険庁が全国を一手に運営しているため、どうしてもきめが荒くなりがちで、運営上不都合が生じます。そこでこれを県単位に分割し、より細かい運営をしようとしています。

かたや国民健康保険は、市町村単位です。村まで多数あり、自治体間で保険料、サービスに大きな格差を生じているため、こちらは県単位に統合させ、財政基盤の安定と格差の解消をはかろうとしています。

次に、資金支援策ですが、支援の流れは、

資金の潤沢な大手企業健保や共済組合から政府管掌保険や国保へと、支援側には負担増となります。

本来、互助の精神で成りたっている健康保険制度なのですが、利害の対立が生じますので、厄介な問題です。

次に、②新たな高齢者医療制度が論議されています。

七十五歳以上（現行七十歳）の方が対象になりますが、与党案と厚生労働省案の二つが組上にあります。与党案の概略は、高齢者の独立した新しい保険を作るものですが、病気になる可能性の高い高齢者だけの保険を維持するには、支援資金の出所をはじめ、運営母体を誰にするか等、多くの難問があります。

厚生労働省案は独立した保険は作らないで、若い年齢の加入者の多い保険制度が、高齢者の多い保険制度を財政支援するという助け合い方式ですが、負担増となる経済界、健保組合が反対しています。

お金だけでははかれない健康に関する重要案件ですから、政府任せにしないで注目すべきことだと思います。若いうちは元気でも、歳を重ねるに従い健康を損ねることが多くなるのは自然の理で、好むと好まざるとにかかわらず、誰もがたどる路であります。

互助の精神で、知恵と工夫をこらし、いくつになっても安心して治療に専念できるように整うよう願っています。



私は今

◇ 青山 嘉元 (多度津町)

あけましておめでとうございます。

一つ加齢して六十四歳。現役時代気にも留めなかつた加齢。今重く感じる。

引退後二年。ゴロ寝、濡れ落葉、心身とも老齡化への反発から、近隣町のスポーツセンター通い。バタフライ、チェスト、シヨルダプレス、レッグカール等トレーナーとボディビルディングバイブルを手に各目五十kg引き上げと、二度目の八十八ヶ所自転車巡り、手間をかけた突然死も視野に入れ頑張っております。

地域では、八十八戸の自治会長を拝命し、毎日、多忙を極めております。

◇ 井出 憲博 (今治市)

光陰矢の如し。退職後、はや二十年を迎えた。十五年前に体育指導、農業、両親の看取りや新築、暴飲暴食と過労が祟りダウン。有世無世と七度も一日に、八度目に開眼、現在に至る。

ただ、高血圧の薬は今も。身体の不自由も今はない。車の運転も何とかやっている。安心して区切りの時を迎えられるよう祈るのみ。十五年も話し合った今治新都市開発。山、田畑、宅地、家、おまけに神社、墓地まで全財産の提供と収容替えの嵐が吹きまわった最後の二年間、火の出る思い。今は当市松木に落ち着いた。お立ち寄りの程を。「盡己疎成」

◇ 伊藤 博文 (徳島市)

平成十一年三月末退職。その後、家業を妻と二人で、友人に助けられながらしています。作物は、菜の花・加工用シソ・すだち・米等を作っております。

地域では、徳島市農協菜の花統一部会長、徳島東少年補導協助手員(徳島東警察署長委嘱)、寺総代等のお世話をしながら、結構多忙な毎日ですが元気で頑張っております。

◇ 稲田 進 (宇和島市)

退職後は、テニス、釣り等の趣味を楽しみながら、自治会の役員等を昨年まで務めて参りましたが、体力の衰えを自覚するようになりすべて辞めました。

現在は、親交のある友人との団欒を主とした交友の場を求めて、長年続いている週一回の交歓の場と年二回(春・秋)の親睦旅行を楽しんでいます。

幸い今のところは元気なようなので、しばらくは有意義に憩えるものと思っております。

◇ 井上 久雄 (安芸市)

電友会の皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。光陰矢の如しとはよく言ったもので、私も退職後はや二十年余が流れました。お陰さまで毎日元気ですが、八十路も近くなり、体の衰えを覚える今日この頃です。

自分の体は自分で守れのとおり、これからも体に合わせて頑張ります。皆様もご自愛の程お祈り致します。

◇ 上田 章夫 (春野町)

私は退職して三年になりました。現職の時から、地域の方々からの誘いで、「春野民謡を楽しむ会」に入会して約二十年になります。このサークルは、全国に伝わる民謡の伝承、会員相互の親睦、地域のボランティア活動に積極的に参加することを目的に発足したものです。

過去四回、チャリティーで発表会を開催し、入場料を全額、町の文化ホール建設基金や、生命の基金等に寄附してきました。

これからも、自分の健康維持になればと、続けていきたいものです。

◇ 植田 末美 (琴平町)

会員の皆様にはますます御健勝のことと存じます。

退職してもう二十数年の日が過ぎました。その間、第二の職場に二年数ヶ月勤務し、その後は、地域社会にお役に立ちたいと思い、地域の社会福祉協議会や自治会連合会、地区選挙管理委員会にも貢献でき、平成十年三月期まで頑張りました。

家内が昭和五十八年四月他界し、自分も平成十年三月、体調の悪化に見舞われ、入院を繰り返しましたが、最近はやや体調をもどし、老人仲間と近くの温泉通いの日々を送っております。

皆様方にも呉々も老後をご自愛の程を。

◇ 内原 寅吉 (松山市)

ぼけ防止の一助にもなれば両得と、日課を定め実行しております。

しかし、年齢とともに心身の衰えは避けられず、加えて視力が減退し、新聞ひとつ読むのにも長時間かかるなど、外のことも同様で事が捗らないのは閉口しております。

また、健康と体力維持のため、それに趣味を兼ねた畑仕事も楽しんでおります。土と親しめ、野菜や果物の収穫もできることに、えも言えぬ幸せを感じております。

こんな具合で、お陰さまで何とか無事に忙しい毎日を送っております。

◇ 榎本 幸男 (高松市)

会社を辞めてはや二十二年がたちました。お陰で元気に毎日を過ごしております。

これと違って趣味がなかった私でしたが、ハイキングが健康に良いということで、友人と誘い合って、平成四年、電友会の中に「ふるさとを歩く会」というサークルを結成しました。月一回の例会で約十キロメートルを歩いています。

歩く範囲も四国四県はもとより、岡山、兵庫等へも足を延ばしています。会員お互いが身近に感じられるようになりました。

これからも元気で楽しく歩きたいと思っています。

◇ 岡 真澄 (高松市)

老人会のお世話をしながら、福祉のボランティアへの参加や、高齢者教室のお世話をさせていただいております。

地区の老人会長になり早いもので十年が過ぎましたが、年々人が去り、五十名の会員も若い者にお手伝いをお願いしてお世話をさせ

ていただいております。電話で健康状況を聞いたり、家庭へ行ってお話をしあけるのが今では楽しい一日で、私も元気でいられるのではと思っております。

七十七歳になりますが、まだ眼鏡もかけずに新聞も読めて喜んでおりますので、皆さんもがんばってください。

◇ 岡本 ミエ (夜須町)

退職して十四年の歳月が流れました。このごろでは、すっかり地域社会にとけこみ、夏の国体には八百人分のブタ汁を作ったり、選手や監督のおみやげにとストラップを作りました。また、春野の開会式のアトラクションの手結盆おどりの着付けをしたり、今年は国体国体で暮れたように思います。

その間には、趣味の民踊とフォークダンスを芸能大会に向けて練習に励んでいます。多くの友人もでき、孫二人にも恵まれて生きる喜びを味わっている今日このごろです。

◇ 菅 福美 (松山市)

病院を退職して四年半が過ぎました。現在は、三越の「妊産婦育児相談室」で非常勤として勤務しております。

少子化の時代となりましたが、子供さん達が健やかに育っていくことを願い、育児のお手伝いをしていこうと願っています。

健康維持のため水泳を始めましたが、肩こり、腰痛予防と思わぬ効果があり、今では週三回、スイミングを楽しんでおります。

電友会の皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

◇ 榎 静子 (徳島市)

退職して八年。週一回程度、近くの大学で茶髪やピアスの学生と一緒に授業を受け、彼等から若いエネルギーを吸収していますが、半世紀ほどの年の差による価値観の相違に驚いています。

健康第一に、ファストフード何ぞは真っ平御免。最近、注目されているスローフードの良さと大切さを実感しています。

毎朝のウォーキングには、うしろ歩きを少し加えて転倒予防。夜は自室で軽く「阿波踊り」。好きな古典落語を聞きストレスを解消しています。

◇ 塩田 末 (伊野町)

退職して十五年目に入りました。月に一度の病院通いですが元気です。

家事の合間に編物、鉢植えの花の手入れ等で毎日が明け暮れております。

唯一の楽しみは、四季折々に野山へと山野草を見に出かけることです。水晶ラン・延齡草・ナンバンギセル・葉がくれつりふね草等、本で見えていた花々に出会うと嬉しくて、カメラに収めて来ては喜んでおります。豪華な花もいろいろありますが、ひっそりと咲いている小さな花達に心引かれます。

◇ 島崎 猛 (高知市)

毎号、この欄では皆様の近況を拝見し、いろいろと思いを馳せ、懐かしんでおります。

趣味に地域活動にと勤しんでおられる皆様にひきかえ、無芸無趣味の私ですが、この頃はパソコンにはまっております。

種々雑多に育てている植物の世話をするのも日課の一つですが、その名前、管理の方法なども、インターネットで検索して参考にしております。その情報の多さにはただただ驚きです。

今後とも、趣味に実益にと活用し、少しでも知識が増えればなどと欲張っております。

◇ 清水 佐津子 (石井町)

早いもので退職して十六年が経ちました。今はお寺の寺族婦人として、檀信徒の方々と共に御詠歌を習ったりと交流を続ける傍ら、局に勤めていた時から習っていたお花、日舞も続けております。

健康であることを有難く思い、長男夫婦、孫達、そしてまわりの方々とのおれ合いに感謝している毎日です。

これからも、自分の身体を労り、家族に感謝しつつ、人生の先輩として良き指導者でありたく思っております。

◇ 菅本 達雄 (松山市)

間もなく七十一歳を迎えますが、少し高い血糖値を気にしながら、パソコンによる画像レタッチとビデオのノンリニア編集、ビデオクラブの世話役や公民館のビデオ講座講師、パソコンでの編集指導など、マルチメディア三昧の毎日でボケ防止に励んでおります。

幸い、人の和に恵まれて例会や撮影会も楽しく、また、イベントの記念写真の映像をキヤプチャーして、一人ずつ白抜き文字で名前を重ねて印刷配布すると、原画よりも綺麗で良くわかると好評です。

◇ 鈴木 重明 (丸亀市)

昭和六十年NTT株式会社発足の年に退職し、知らぬ間に年月が経ちました。

子供二人は共に遠方へ巣立って行き、今後、夫婦二人の老後を考えたととき、二人の故郷である丸亀へ帰ろうと七十歳にして決心し、長年住み慣れた松山を後にしました。

丸亀での生活は、親戚が多いので何かと心強いものの、趣味の釣りはあまり釣れず、医者通いが増えている現状です。

もう一つの趣味の将棋は、アマ三段の実力と言われているゲームソフトと対戦し、負けて悔しがる妻に笑われています。

◇ 高橋 紫朗 (松山市)

昨年、思いがけなくNTTと市から喜寿祝いをしていただき恐縮するとともに、孫達らとの会食では、やはり電電時代の思い出とともに年月の早さを感じました。

五年前に肺炎を患って以来、医者とのつきあいが急に深くなり、ゴルフは長らくご無沙汰、旅行はもっぱら安・近・短の博物・美術館巡りが中心となっている状況です。

今春には金婚式を迎えますので、健康に留意しながら、楽しい老後をと頑張っているこの頃です。皆様の御多幸をお祈りします。

◇ 田原口 千代 (徳島市)

現在、徳島県シルバーバード大学校歴史文学コース第二十二期生です。自宅より八キロの距離を四十分、自転車通勤しています。

仕事上での研修や、社会教育面での学習はその都度受けては来ましたが、継続的なのは

実に半世紀ぶり。週一回の学生生活に緊張感を味わっております。何よりも、多くの友人が一緒に出来たことが幸せです。

これからの人生は、他人に迷惑をかけない範囲で、自由に個性豊かに過ごしたいと考えています。

◇ 田和 政勝 (松山市)

私は健康維持のため、朝のうちはグラウンドゴルフをして、町内の方々と楽しく過ごしております。

昼からは庭の手入れをし、時期には花木の挿木をし、花が咲くとご近所に差し上げて喜んでもらっております。

これも花いっぱい運動のボランティアだと自分の生き甲斐に頑張っております。

◇ 千葉 貞夫 (高松市)

退職後四年、規則正しい食事とウォーキングのお陰で十五キロの減量に成功。健康診断結果から『肥満』の字が消えました。

数年前から園芸に興味を持ち、四季折々の草花、大菊、蘭等を作り楽しんでます。

健康維持のため週一回のゴルフ、年に二、三回京都、奈良で古都巡りというよりも食べ歩きをしながら、四十年來の朋友と旧交を温めています。

毎日が日曜日“の生活パターンもすっかり定着し、読書、パソコン相手にインターネット、ゲーム等気儘な一人の時間を満喫しています。



◇ 蝶野 尚生 (松山市)

お陰さまで医者と疎遠、元氣です。鶏さえも共同募金の主役を演ずる時代ですから、高齢者手帳に併せ、少しでも医学の進歩に役立てばと「白菊会」に入りました。

地域では少々役不足を痛感。営為に見る人間関係、振舞に見る表象直観等からその根拠を問えば、「これが人生だったのか。よし、それならもう一度」などと、趣味の百姓を通じてその神秘に触れながら、修士号も夢ではないと放送大学に遊学中。

皆さん共々健康な日々をこいねがっております。

◇ 津村 政子 (坂出市)

月日がたつのは早いもので、退職して二十二年が過ぎました。在職中は皆さんに大変お世話になりました。義母を送り、子供達も結婚し独立して県内で頑張っています。今春は初孫が社会人の仲間入りをしました。

いつの間にか古希を過ぎると、気持ちだけが先走り、身体は年齢並に劣化が目立つようになりました。

これからは、夫と二人で助け合いながら、いつも感謝の気持ちを忘れずに、のんびりと明るく過ごすように心がけてまいります。

◇ 土居 延次郎 (松山市)

現在、老骨の二人住まいですが、なんとか今のところ元氣です。

私は松山市高齢クラブ連合会の理事を務め、素鷲地区高齢クラブ連合会長と町内会の役職

等で毎日多忙に追われています。

病気になる暇がありません。元氣な秘訣がここにあるかも知れないと思って毎日頑張っております。もう八十五歳です。

◇ 中越 貞 (高知市)

「入院のとき」突然の入院の診断。毎日の生活の不調和が原因かも。ボランテアとの不調和を体が知らせてくれた。私がこうして立ち止まったとは。病苦をやわらげ痛む心をいやしながら、不安と孤独と失望に沈むときも、決して肩代わりすることの出来ない現実に、体力の衰えを感じ始めましたが、自らの道に生活と調和が出来るように努力しています。

思いのままの手術に成功で有頂天になって「うまいいった」最高に幸せ。「六年間の料理教室」の皆様 中止申し訳ございません。皆様方もどうぞお体を大切に。

◇ 中山 敏明 (高知市)

グラウンド・ゴルフをするようになって、自分に何の変化が起ったか考えてみた。自分より年齢の上の人、一般的には老人と言われる人々が、男女の区別なく、嬉々として元気にプレーに興じているのです。

この姿を見て、私はこれまで生きて来て競争社会の中では見られなかったのを知り、この楽しみこそ心を豊かにしているものと心を洗われた気持ちになりました。

グラウンド・ゴルフを始めたいきさつは、なんとなくさわれ始めました。暑い日も週に三、四日も練習する毎日です。

◇ 長野 啓 (今治市)

長男：：三菱電機勤務。二男：：日本鋼管勤務。啓：：毎日、ゲートボール等をしていきます。地域社会での活動は、今治老人会理事、日高校区会長、地区会長その他を終わりました。六十歳で老人会に入会し、八十歳まで世話をしました。

◇ 新谷 登代子 (高松市)

退職してはや二十年余りになります。うか。まだ若かったので海外旅行をしたり、カルチャー教室へ通ったりと楽しみました。最近、年に二、三回歌舞伎観劇を楽しみにし、地区の老人会のボランテア。

グラウンド・ゴルフクラブの親交・発展に、市・県はもろろん県外へも西日本大会へもとがんばっています。

今年から、N T T サロンでパソコンの御指導を受け、今、面白くなってきたところ。いつの間にか古希を過ぎましたが、とにかく元氣で充実した日々を過ごしています。

◇ 日野 詮季 (砥部町)

ゴルフを始めてもう三十年余になる。練習場へも行っているが、腕前はなかなかあがらない。老人ばかりのコンペに入れてもらって月一、二回コースをまわっているが、近頃のスコアは始めた時と同じ位である。

八十歳くらいまではやりたいと思って今まで来たが、あと一年で終わりになる。グループの中に八十五歳でまだ元氣にゴルフをやっている人が何人かいる。自分も目標を八十五に変更しようかと思っている。

◇ 藤田 勝久 (新居浜市)

会社を退職して早くも十九年になります。退職後は健康維持に努めてきましたが、最近になって体調を崩し、入退院を繰り返しているところ です。

病状もお陰さまで大分良くなり、一日でも早い回復をと頑張っております。皆様のご健康をお祈りします。

◇ 堀口 準助 (松山市)

退職してから早くも十七年となり、歳月の速さに驚いています。

今年には喜寿を迎えお祝いを受け、そのうえ金婚式も迎えました。三人の子供、七人の孫達が遠方からも集合し、道後のホテルで記念の宴をあげることができました。また、愛媛新聞社主催の「第三回金婚のつどい」にも参加でき、ますます幸せを感じました。

しかし、今日までには、夫婦ともども入院手術を要した大病をし、皆に心配をかけました。今は定期的に通院し、健康管理に努力しています。

◇ 本多 成 (松前町)

第二の職場を辞して六年が過ぎました。この間、地域の世話役を引き受け、ようやく、その任も解かれることになりました。

自身は、高血圧と仲良く付き合いつつながら、NHKの趣味の講座と隔月のゴルフを楽しみに過ごしてきました。

今後は、時間のゆとりができるので、六十の手習いで書にも精進していきたいと思っています。

最後になりましたが、電友会の益々の発展と諸兄のご多幸を祈ります

◇ 松岡 君子 (多度津町)

私はお陰で健康に恵まれ、幸せな日々を過ごしています。周りの田畑を眺めつつ、時季の野菜の収穫を楽しみに、体を適度に動かせております。

また、老人旅行等で皆様と話を花を咲かせております。特に近頃、鏡を見ては腰を伸ばせ伸ばせと念じつつ過ごしています。

電友会の方々、お世話になり有難うございます。今後ともよろしくお願い致します。

◇ 森 明博 (高知市)

退職してもう十二年が経過しました。退職後二年目から第二の職場に就職したが、腰部脊柱管狭窄症となり、三年でリタイア。

一〇分歩くと足が痛くなり、暫く休み痛みを止めまた歩く、という状態で、週一回の病院通いです。

僕は好奇心でゴルフ、写真、日本画、大正琴等公民館学習に通ったが、三日坊主でいずれも二年でやめ、三年前からパソコンで子供達とのメールや写真の送受信、将棋ゲームで楽しんでいきます。

◇ 森 正光 (松山市)

毎号、OBの消息を楽しみに読ませていただいております。

私の近況をとのことですが、退職後、私の日課は、朝のラジオ体操を暮開けに職場へ、

帰りは街の囲碁クラブへの毎日です。そこで色々な人との交流と別れを大切にしながらの十七年。

休日には、家内と二人でのドライブと近所の温泉巡りを楽しんでおります。

◇ 森田 鶴子 (土佐市)

近況をお尋ねいただき有難うございます。私は息子夫婦が仕事に出ていますので、家事一切と三人の孫の面倒を任せられ、雑用に追われる毎日です。これもボケ防止かなと私なりに思っています。

そして、月一回暇を頂き、お四国八十八ヶ所順拝に行っております。毎日の雑用を忘れ、家内安全と健康を感謝し、元気に過ごせますようお願いします。これからも健康な内は順拝を続けたいと思っております。どうか皆様もお元気で御身大切に健やかに過ごして下さいませ。

◇ 保険のご案内 ◇

電友会では、電友会傷害保険、自動車保険、がん保険等、会員に有利に適用される保険を皆様にお勧めしています。募集代理店としては、NTTグループ職域代理店である、きらら保険サービス(株)と協定を結んでいます。今回の会報に同封の案内チラシのほか、随時、案内させていただきます。まさかの時の「頼りになる助っ人」として、ぜひご検討ください。

(事務局)

ドキュメント

人生さまざま・後半生を生きる

陶工として窯元を守る

福留章さん（六十歳）は、高知県安芸市の在住で、平成六年十二月に赤岡営業所を最後にNTTを退職された。時に五十二歳という若さであったが、最大の動機は家業の窯元の仕事を受け取っていたからに外ならなかった。とは言え、電電公社、NTTを通じて、窯元とは全く無縁の世界に長年生きて来た福留さんにとっては、かなりの勇断であったに違いない。

安芸市と言えば、野良時計やタイガースタウンとして、最近、知名度が高くなっているが、「陶芸とつじの里内原野」はかなり古くから知られている。その安芸市内原野（うちはらの）にある福留さんのお宅を訪ねてみた。

つじの名所として知られている弁天池の脇を通って、更に奥深くへ入ると、そこに陶芸の里が広がり、四軒の内原野焼き窯元が点在している。その中の一軒が福留さん宅である。ご夫妻共々快く迎えて下さり、内原野焼きのことなどつじに聞かせてもらった。

「福留窯」のルーツは、実は福留夫人の愛子さんにある。愛子さんの父親が、五代目窯元として家業を営んでいたが、男のお子さんが無いため、後継ぎを断念したまま、平成四

年に他界された。そこで、愛子夫人が一大決心をして、後を継ぐべく「女陶工」として修業を始めた、という。子供の頃から見よう見真似で多少の知識があったとは言え、それは誠に厳しい選択であった。女陶工は全国的にも極めて珍しく、師匠の役を買ってくれた人からも「プロになるなら教えるが、趣味としては窯元が一軒でも減ることを防ぎたかったに違いない。

ともあれ、少しずつ腕を上げていった六代目ではあったが、何せ女手一人で窯元を支えていくにはいかにも荷が重過ぎることを実感するに至った。そこで、ご主人との二人三脚を思いついた愛子さんは、福留さんにNTTを退職することを迫った。その辺の事情については、今でこそ笑い話のように語られるが、恐らくお二人の間では、かなりの葛藤があったに違いない。

いずれにしろ、退職に踏み切った福留さんは、五十の手習いよろしく陶工の修業を始めた。爾来、八年を経て、夫婦の二人三脚が実り、「福留窯」は今も立派に「陶芸の里」の一翼を担っている。

ところで、焼物の知識が殆ど皆無の当方にとっては、見る物聞くもの全てが新鮮に映った。特に、工房を実際に見学しながら、全ての工程を追ってみると、その大変さ故に、奥さんが福留さんに退職を迫った気持ちがよく理解できた。

そもそも、焼物に適した土は何処にでも存在する訳ではない。内原野独特の粘土質の素材が出る土地の地主と契約して、採集するこ

とから始めなければならぬ。そして、製品を完成するまでのプロセスはもとより、完成品を売り捌くための営業も、窯元を維持していくには欠かせない重要な業務である。それやこれやで窯元を維持していく困難さと、後継者の問題もあつたりして、昔は八軒あつた窯元も、現在は半数の四軒に減っているそうである。したがって、福留夫婦が守り続けている「福留窯」は、内原野焼きにとって貴重な存在であることは間違いないだろう。

福留さんには、窯元以外にも別の顔がある。自宅の周辺に広がる二反歩程の畑で無農薬野菜の栽培を続けている。二反歩といえば大層な広さで、兼業農家と言ってもよい程の規模である。また、農協の監事も務めており、農業との関わりも結構深いものがある。

また、これは余談であるが、さきの「よさこい高知国体」の際、安芸市の民泊協力会長を引き受けられ、国体運営に大いに貢献した、という。その功により、安芸市長から感謝状を贈呈されていることも付け加えておきたい。

こうして、福留さんは「陶芸の里内原野」の窯元として、また地域社会における指導的立場の住民として、極めて充実した第二の人生を送っておられる。そこには、よい意味で、NTT社員としての面影はもはや無く、どっしりと地元を根を下ろした福留さんの姿を垣間見た思いがした。更に一層のご活躍、ご発展を祈って筆を惜ぐこととする。

（窪田編集委員 記）

テルウェルだより

「グループホーム愛松園」
平成十五年二月一日オープン
入居者募集中

テルウェル西日本(株)四国支店では、平成十五年二月一日(土)「グループホーム愛松園」をオープンします。

場所は、松山市喜与町一八四のNTT西日本松山病院前です。

この施設は、数人の痴呆高齢者がケアを受けながら共同生活をするところで、自分の家に居るような感じ、なじみ”を大切にし、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送っていただけるそうです。

また、隣接するNTT西日本松山病院等と協力医療体制を整えた施設で安心して入居いただけます。

《入居できる方、入居料金等》

- 一 入居できる方
 - ・ 医師から軽度の痴呆症と診断され、要介護認定が一以上の方
 - ・ 家庭での介護が困難な方
 - ・ 自分で身辺のことがある程度でき、共同生活に支障のない方
- 二 入居料金
 - ・ 家賃 一カ月 五〇、〇〇〇円
(八畳個室、クローゼット付)
 - ・ 光熱水費及び共益費 一カ月 一五、〇〇〇円

- ・ 食費 一日 一、三〇〇円
 - ・ 介護保険サービス費の一割負担
 - ・ その他 誕生会等行事代、理美容代、オムツ代等一部実費負担
- ◎ 以上、入居料金額は、おおむね十三万円程度になります。
- 三 入居定員
十八名(二ユニット)
注：一ユニット(一グループ) 九名で構成

「デイサービス愛松園」も
二月一日に同時オープン

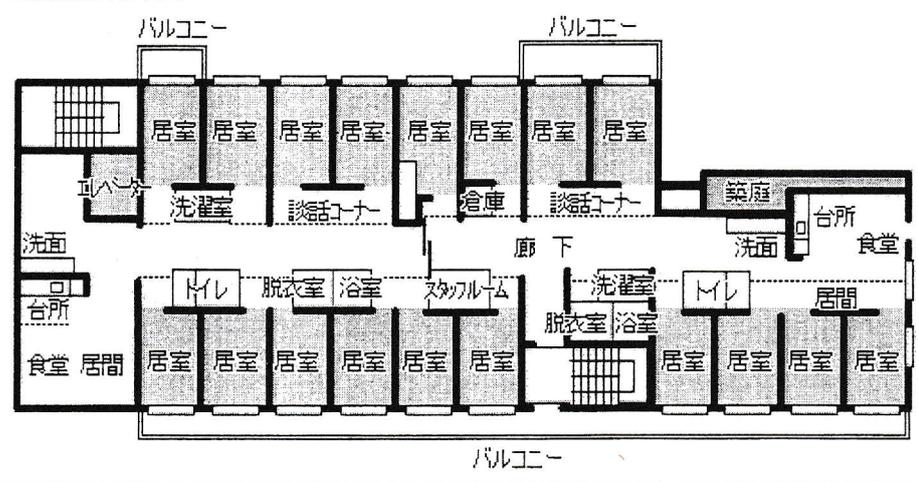
- (1) 利用できる方 要介護一または二の方
- (2) 利用料金 一回当たり一、四三二円
(送迎・入浴・食事・レクレーション費用を含む)

☆ ☆
※利用申込及び問い合わせ先※

松山市南持田町四〇一三
テルウェル西日本(株)四国支店
厚生福祉サービス営業部
「グループホーム愛松園」

(平成十五年一月三十一日まで)
電話 〇八九一九三二一九九五
ファクス 〇八九一九三三一九三三
(平成十五年二月一日以降)
電話 〇八九一九三四一三七〇〇
ファクス 〇八九一九三四一六〇五〇

居室概要図



居室の概要は図のとおりです。

ボランティア紹介

ボランティアNTT高松OB会

事務局担当 中山 忠彦(高松市)

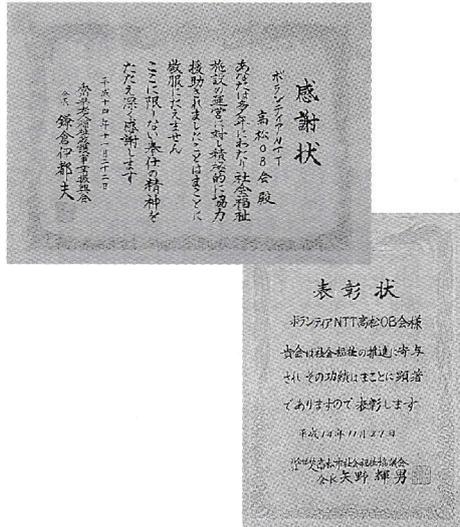
私たちのグループは、平成三年八月に約百名で発足しました。

当初は手さぐりの活動で、その活動範囲も限られていましたが、発足以来、十数年たった現在では、特別養護老人ホーム・弘恩苑と同じく香色苑の二箇所での様々な活動を中心に、市街地の煙草の吸殻拾い、公園の除草・清掃、プルタブ(缶のアルミ栓)の収集、古切手の収集整理等、幅広い活動を行っています。回数にすると月一・五回ぐらいの計算になります。

会員も百六名と、発足当初と総数においては変更がありません。

その理由の一つにもなっていると思いますし、他のグループに見られない特徴だろうとも思いますが、私たちのグループは、毎年一回、会員全員に、会が予定している活動項目の中から各自がやりたいと思っている活動項目を申告してもらい、会のほうでは、それを基にボランティアの案内通知を出しています。体調等の関係で会費だけ支払っている(寄付)会員もいますが、これも立派なボランティアだと歓迎しています。

昨年十一月、弘恩苑でのボランティア活動を始めて満十年になることから、弘恩苑からの推薦により、香川県老人福祉救護事業振興会から感謝状を、そして高松市社会福祉協議会から表彰状を戴きました。



これも、会のモットーである「まず実行、楽しく、継続」のもと、会員全員が気持ちよく一つにして続けてきた自発的な協力の賜物とと思っていますし、今後も、気持ちを新たにしていきたいと思います。

しかし、問題が一つあります。それは新規の入会者が少なく、会員の平均年齢が高くなってきたことです。発足当初からすると、十歳高くなっていますので、活動の内容について、みんな話し合いをして、変更していかなければいけないと思っています。

例えば、弘恩苑では夏祭りを初めとする各種イベントの手伝い、バス旅行の介添え、苑庭の剪定・除草、室内の窓ガラス拭きなど種々の活動をしています。作業時間を短縮するとか、あるいは、作業内容を変更するとか、少しずつでも前進のための改善をしていきたいと思います。

ボランティア活動を継続するには、とにかく、心と体の健康が第一と思っていますので、ゆっくりと無理をしないで、今後も、みんなと一緒に楽しめ、そしてボランティアを行った後に自分自身に喜びが湧くようなボランティア活動にしていきたいと思っています。

M・Mコーナー

コンピューターウイルス

徳広 孝敏 (高知市)

インフルエンザのシーズンがやって来ましたが、インフルエンザはA型やB型のウイルスが原因で、たちまち大流行することは、周知のとおりです。

さて、平成十四年夏、コンピューターウイルスが大流行し、私たちのメーリングリストにも感染し、駆除対策に大変苦労しましたので、その概要を報告します。

今回、全国的に流行したウイルスは、ワームクレズH型とB型で極めて悪性でした。コンピュータウイルスは、知らない内に勝手にマイコンに忍び込みウイルスを増殖し、アドレスを盗んでは他人になりすまし悪質なメールを撒き散らします。最悪の場合には、データをめちゃくちゃにし、パソコンを壊してしまいます。

送りつけるメールには魅惑に満ちた名前をつけてきます。例えば「Jadresses girl.VS.Playboy」「Look.EV.Beautiful boy」「fired」などです。今回のウイルスは、電子メールに侵入し添

付ファイルとして送りつけ、次のような特徴がありました。

- ①添付ファイルのマーク（クリップ）がある。
- ②送信者には会員のアドレスを使っている。
- ③メモリーは一四〇KBくらい。

よく気をつけておればウイルスつきメールであることは判別できます。迂闊に本文を開封しようものならたちまち汚染されてしまいます。

今回調査の結果、被害者は四十八名にも達し、一台のパソコンに侵入した最多メール数は、百十五件にもなっていました。

「自分だけは大丈夫」「そのうちやるよ」と思っていた方には不意打ちの「つけ」が回って来たと言えるでしょう。

早速、対策会議を開き、次に示す結論を出しました。

- ①自分のパソコンが汚染しているかどうかのチェック（OCNは無料）
- ②ウイルス駆除ソフトの導入（全員、数千円）
- ③プロバイダーのウイルスチェックサービスの加入（OCNは二百円）
- ④パソコンのバージョンアップ（インターネットエクスプローラ）（無料でダウンロード）
- ⑤メールの本文を自動でプレビューしない設定の変更（無料）

以上の対策についてマニュアルを作成し全員に配布するとともに、緊急説明会を開きました。

自己解決できない方は家庭訪問して応援するなど、きめ細かい活動方針が決められました。幸い、会員の全面的な協力が得られ、約一カ月で駆除作戦が終了しました。メーリングリストを再開したことは勿論です。

今回の事件では、高知電友会の強力なバッ

クアップを戴き、また、広江会員の献身的な奉仕があったからこそ短期に解決できたものと感謝の念で一杯です。

しかし、ウイルスは進化しています。どんな形で再び出てくるかわかりません。今回のウイルス感染の苦い体験で「自分のパソコンは自分で守る」というパソコン管理の原点に立ち返れたことは大きな収穫であったと思います。（高知電友会OBネット支配人）

サークル紹介

八〇（パー・ゼロ）会

井筒 正義（徳島市）

昭和五十五年（一九八〇年）六月に発足した徳島電友会サークルのゴルフ愛好者グループ「八〇会」は、毎月、一回も休むことなく例会を重ね、平成十四年十二月には第二百七十一回例会を「鳴門カントリークラブ」で開催したところです。

発足時十名程度だった会員も、今では五十七名の大世帯になっています。

「八〇会」の名称は、①一九八〇年にスタートした。②八〇歳になっても元気でゴルフを続けたい。③ネット八〇台以内でプレーしたい。④パーが取れなくても（パー・ゼロ）でも楽しくプレーできたらいい。との願望等から名付けられています。

現在、越久田保之氏（八十九歳）と賀川明孝氏（八十二歳）が、「八〇会」の一つの願望を達成し、元気にプレーを続けられています。が、会員一同両氏を目標に健康維持に努めているところです。



例会は、毎月上旬の平日に前々回の優勝者とブービー者が幹事となって、徳島県下のゴルフ場で開催しておりますが、節目の例会や、傘寿記念の例会は「記念例会」として近隣県へ一泊二日で遠征したりしています。

「八〇会」の歴代優勝者名、最近の入賞者名、規約等をホームページ（徳島電友会・サークル活動・八〇会）に掲載していますので興味をお持ちの方は一度ご覧ください。

なお、我が「八〇会」には分科会として、毎月中旬開催の「八〇シルバー会」と、毎月第四金曜日開催の「八〇吉野川会」がありますので、ゴルフ大好き人間にとっては、かけがえのないサークルとなっています。

最後に提案になりますが、年に一回程度、各県持ち回りで、代表者による親睦ゴルフ大会を開催してはいかがでしょうか。

俳句

電電友佳里句会

(愛媛)

南無阿弥陀小春の縁を借り申す 岡内 傳
 山住みの着馴れ衣で年迎ふ 後藤 波久
 義士の日の句会七士の年忘れ 坂口 好繁
 木の葉舞ふ天に不動の天守閣 高橋 哲雄
 熟柿一つ供へりあり屋敷神 高本 隆之
 逝く年の墨痕しかと「帰」の一字 仲谷 昭
 駄菓子にも税の五円や一葉忌 二神 三郎

敬弔

次の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

故人のお名前 逝去年月日 享年 居住前地

小松 俊美様 14・10・7 高知市
 河原田 新様 14・10・8 菊間町
 龜山 巖様 14・10・19 丸亀市

故人のお名前 逝去 年月日 享年 居住前地

柳原 幸様 14・14・19 南国市
 岡崎 精之様 14・11・10 野市町
 別府 光正様 14・11・5 松山市
 大谷 邦夫様 14・11・6 多度津町
 筒井サツキ様 14・11・6 伊予三島市
 有満 正敬様 14・11・16 松山市
 宇都宮光夫様 14・11・18 伊予市
 秋月 義則様 14・11・20 徳島市
 土居松太郎様 14・11・21 西東京市
 森木 節様 14・11・29 伊野町
 西崎 均様 14・12・6 松山市
 神田 静恵様 14・12・10 善通寺市
 山岡 直行様 14・12・10 松山市
 政本 邦興様 14・12・10 松山市
 吉永 稲実様 14・12・13 高知市
 坂東 實様 14・12・14 石井町
 玉江 明様 14・12・21 松山市

表紙の言葉

飛翔 藤本 迪雄 (松山市)

例年の習わしですが、新年を迎えるにあたり、何か新しい場面の転換を期待するものです。昨今の情勢から、飛躍的な急上昇は望むべくもありませんが、乱気流などに遭遇することなく、安定した飛行を願う気持ちで一杯です。(松山空港にて)

物故者叙位叙勲

勲六等旭日章 小松 俊美 様
 勲六等瑞宝章 龜山 巖 様
 勲六等瑞宝章 別府 光正 様

編集後記

▽ 新年おめでとございます。本年もよろしく願い申し上げます。
 ▽ インターネットで「ひつじ年」を検索して見ると、「戦争と暴動による変革の年」だそうです。
 ▽ 前段の、ぶっそうな話は願い下げですが、後段の「変革の年」にあやかって、社会を取り巻く「閉塞感の打破」を期待したいものです。
 ▽ 寒さはますます厳しくなります。皆様のご健康とご自愛をお祈りします。(稲毛)

四国電友会会報 第百二十一号

発行 平成十五年一月一日

編集 電友会四国地方本部

松山市一番町四一三

NTT西日本愛媛支店内

電話 ○八九一九三六一二〇二三

印刷 NTT四国電話帳株式会社



24時間使い放題の インターネット接続サービス 「クオリア」

QUOLIA

フレッツISDNプラン

月払い **700円**

さらにおトク! (年払い/7,700円)

フレッツADSLプラン

月払い **980円**

さらにおトク! (年払い/10,780円)

◎1カ月のご利用料金例 (通常料金)

| クオリア | | NTT西日本 | | 合計 |
|-------------|------|--|--------|--------|
| フレッツADSLプラン | 980円 | フレッツ・ADSL モア <small>※タイプ1</small> | 3,200円 | 4,180円 |
| | | フレッツ・ADSL 8Mプラン <small>※タイプ1</small> | 3,100円 | 4,080円 |
| | | フレッツ・ADSL 1.5Mプラン <small>※タイプ1</small> | 2,900円 | 3,880円 |
| フレッツISDNプラン | 700円 | フレッツ・ISDNプラン | 2,800円 | 3,500円 |

※タイプ1は加入電話と共用するタイプです。

●NTT西日本「フレッツ・ISDN」「フレッツ・ADSL(タイプ1)」をご利用の場合は、加入電話の回線利用料(電話基本料金)が別途必要になります。

●「フレッツ・ADSL」の利用料金は、スプリッタ、ADSLモデム、屋内配線を別に購入した場合(NTT西日本からのレンタルも可能)の金額です。

●利用料金はお客様の利用プラン等によって異なります。詳しくはQUOLIAインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

オプションサービス

- 便利な使い方セット(メール転送、簡易メールリスト他) ○メールアドレス追加
○メールBOX容量追加 ○ウイルスメールチェック ○Web容量追加

いずれも 月額250円

いつでも同じIPが使えて、さらに便利に!

「固定IPサービス」

初期費用 2,000円 月額利用料 2,000円

株式会社エヌ・ティ・ティ ネオメイト四国

■お申し込み・お問い合わせは **QUOLIAインフォメーションセンター**

イーヨ イーナ クオリア

★ホームページからお申し込みいただけます。

0120-141790

E-mail info@quolia.com

受付時間: 午前9時～午後5時(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

ホームページ <http://www.quolia.com>